

# 道見やすのり

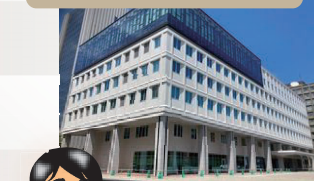
北の元氣玉  
が  
北海道を強くする

DOMI通信 Vol.8  
議事特集号

- 建設常任委員会 委員長
- 産地地域振興・GX推進エネルギー調査特別委員会 副委員長



## 道見やすのり プロフィール



新議場の見学  
希望は当事務所まで  
元氣玉がご案内いたします!



- 〈主な公職〉
- ・(社)札幌青年会議所副理事長
  - ・(社)札幌青年会議所ころの絆推進実践会議議長
  - ・札幌北警察署少年補導員

- 〈好きな言葉〉
- ・悠々として逃げ
- 〈家族〉
- ・妻・娘3人・孫1人
- 〈趣味〉
- ・フライフィッシング・読書

- 北海道を見る
- ・昭和41年(1966年)札幌市生まれ
  - ・北海道札幌新川高等学校卒業
  - ・日本大学法学部政治経済学科卒業後、民間企業・会社経営を経て中央ビルメンテナンス(株)勤務(平成26年6月退社)
  - ・平成10年 札幌市東区より札幌市北区太平へ転入

- 〈党歴〉
- 平成21年 3月 自由民主党札幌市北区第4選挙支部入党
  - 平成25年11月 自由民主党北海道支部「HOKKAIDO」政治塾 卒業
  - 平成27年 4月 北海道議会議員に初当選
  - 平成31年 4月 北海道議会議員2期目当選
  - 令和3年 6月 自由民主党北海道支部広報委員会 委員長
  - 令和3年 6月 自民党道連 広報委員長 同「HOKKAIDO」政治塾 運営委員長
  - 令和5年 4月 北海道議会議員3期目当選
  - 令和5年 6月 自民党道連 組織委員長
  - 令和7年 建設常任委員会 委員長
  - 令和7年 産地地域振興・GX推進・エネルギー調査特別委員会 副委員長

## 令和六年 北海道議会 第三回定例会 一般質問

### 北海道における津波避難施設について

津波避難施設については、近い将来発生が予測されている巨大地震による津波に対し、避難困難地域に居住する住民の命を守る為に避難施設を整備し、対策の強化を図るものであります。

### 地域と津波避難施設の関わりについて

#### 質問

今回の意見交換で明らかになったことは、津波避難タワーは発災時のみの利用が前提となっているようで、平時の地域住民による利用検討が滞っているとのことでありました。

折角の施設が、地域の中で守護神のように見守るだけということでは、その効果が限定的過ぎるのではないかと感じたところがあります。安心安全の確保において、物理的な側面は勿論のこと、「地域の連帯」の維持を合わせた「まちのちから」に期待をし、それを欠かすことは出来ません。

地域住民がこれらの施設を平時から活用することについて、道がどのように対応を進めていくのか、知事の見解を求めます。

#### 知事答弁

津波避難施設の利活用促進についてであります。平時から施設を積極的に活用することは、津波避難施設に地域住民などが、出入りする機会を増やすことにも繋がり、災害時の円滑な避難に資するものと認識しております。

このため、道としては、効果的な利活用手法について情報共有や意見交換を行うなど、北海道開発局と連携し、関係する市町における津波避難施設の平時の利活用に向けた検討が進むよう取り組んでまいります。

### 災害に備える「備災」を考える

『地震、雷、火事、親父(強風の意)』  
私たちが決して避けることの出来ない「自然災害」は、いつやってくるのか判りません。

「備災」、行政が整える施設や備蓄ハード面と同じくらいに、私たち民間(家庭や町内会や企業等)によるソフト面に意識を寄せて、普段の暮らしの中から災害について備えておく準備を欠かすことは出来ません。

何でも行政任せにしてしまっはいいいでしょうか・・・

北の元氣玉は、民間が備えなくてはならないソフト面に注目して、議会議論を深めています。

地域の「防災士」や「防災マスター」をリーダーとした行政との連携を備えておくことで、暮らす皆さんの安心と安全を維持しやすくなると考えています。

まずは、皆さんの家庭内から始めてみませんか?



▲釧路町春日公園避難タワー

## 札幌市内の老朽化著しい「警察署」をどうするか



札幌市内の4警察署について、管轄地域を選挙区とする同僚議員の皆さんと庁舎視察しました。

今回視察を行った警察署は、築後50年以上が経過し、建物の老朽化が著しく進んでいます。

また、複雑化する事件や事故、配置される署員の増加により狭隘化が進み、廊下や会議室、武道場にまでロッカーが置かれ、日常業務スペースや事件の対策本部さえも会議室や武道場を転用してやりくりされている状況です。また、1972年の札幌オリンピック前後である札幌市の急拡大期に建築された施設であるために、札幌市内の中心環帯に配置されていて、狭隘であることは無論、成長を遂げた札幌市を見通す上では、その再配置も必要となっていることは否めません。

事前に惨状の説明は受けていたところですが、実際に署内部の視察を行うことで、既に限界を超えた環境下で警察署員の皆さんが業務にあたられていることが判りました。

女性警察官が増えている現状など、昨今の状況に見合った環境整備が急務であり、計画的な警察署の更新に向けて、議会として議論を深めていく必要を認識した調査となりました。



## 流行りの感染症に打ち克つ為に

誰もが罹患のリスクと隣り合わせです。これは決して避けることが出来ません。

しかし、感染症ウイルスに曝露したとしても、皆さん自身の免疫力を鍛えておくことで発症のリスクを下げる事が可能です。「体温の法則」を知ることで、大切な家族の健康を守りましょう!



- 40.0度 ほとんどのがん細胞が死滅
- 39.6度 乳がんの細胞死滅
- 38.0度 免疫力が強くなり、白血球が病気と戦う
- 37.5度 菌やウイルスに強い状態
- 37.0度 体内酵素が活性化
- 36.5度 健康体、免疫力旺盛
- 36.0度 震える事によって熱生産を増加させようとする
- 35.5度 自律神経失調症、アレルギー症状が出現
- 35.0度 がん細胞が最も増加する温度
- 34.0度 水に溺れた人を救出後、生命の回復がギリギリの体温

道見やすのり  
事務所

〒002-8008  
札幌市北区太平8条5丁目2番5号  
TEL 011-773-1211 FAX 011-773-5051

HPアドレス <https://道見.jp>  
メールアドレス [Info@domi.jp](mailto:Info@domi.jp)

# 道見やすのり「145回739項目」の議会質問回数

令和六年 北海道議会 第三回定例会 一般質問

## 「人口減少について」

2014年、私が道議会を目指すにあたり、街頭演説でお話していた内容は、「540万人と言われている北海道の人口は、2040年、わずか25年、四半世紀 後には200万人程減ってしまうことになる」と、「実に、札幌市一つの人口が減ってしまうことになる」。「2050年には、300万人を切ってしまうことが容易に想像できています」と話しかけていたのもであります。

～詳細は表を参照下さい～

私達は、もはや真実を見通せているはずなのに、現実には数字遊びに終始していることを容認することは出来ないであります。



## 人口減少問題に必要な政策について

### 質問

人口減少問題に必要な政策について伺います。現在まで取り組まれてきた諸政策施策は、実質的に子育て政策に留まり、人口減少を止めるまでに至っていないことが知られています。

子育てし易い政策と、合計特殊出生率の向上は別物とも判断することができるのです。

例えば、「産み易さ」と「育て易さ」を一緒に議論することは避ける必要があります。

### 知事答弁

道といたしましては、人口減少のスピードの「緩和」と、人口減少社会への「適応」の2つの観点に基づき、市町村との連携の下、結婚や出産・妊娠、子育ての希望をかなえるための環境整備や多様な人材をひきつける地域づくり、デジタル技術の活用による生産性の向上など、人口減少問題への対応に向け、**実効性ある施策の検討を進めてまいります。**

## 北の元氣玉のからの提案

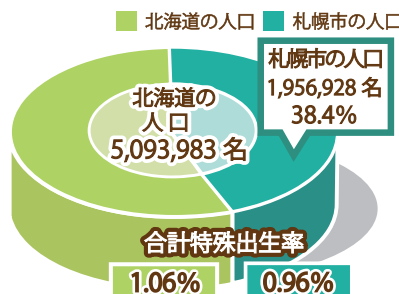
どんな優秀な政策を講じても、出産可能な女性の数が減り続ける以上は、今後20年程度、2050年頃までの出生数の増加は困難であり、合計特殊出生率が向上することはあり得ないと見込まれます。

むしろ、その間、**人口減少と高齢化社会が続く40年程度をどのようにデザインするのが、今を生きる道民の為の政策に大きく影響することは間違いないことなのであります。**

人口減少の現実を直視し、犠牲を最小限に留める、それでも子どもたちの未来に元気で明るい社会を繋ぐことができる政策が必要とされているのであります。

**人口減少の見込みを甘く見て打ち出されている今の政策のみでは、道民に将来を示すことが出来ていないと断じるしかありません。**

北海道の人口実態  
5,093,983名 2023年 現在



※ 2024年には500万人を割り込んだと報道されている

※合計特殊出生率は、2.07%を維持して、始めて人口は減少しない



## 未来へつなぐ政策について

### 質問

人口動態の厳しい現実を覚悟することは、道庁内外の政策に少なからず影響があるものと容易に想定することが出来ます。

例えその効果が認められるのに数十年掛かろうとも、どんな訴求力を今強化し、幅揃い世代や多くの国民が実際に住みたいと思える北海道を実現できる仕掛けを、どのように築こうとしているのか、その為には更に何が必要と考えているのか、後の知事たちに何を繋いでいこうとしているのか、知事の信念と見解を伺っておきます。

### 知事答弁

人口減少対策についてであります。人口減少問題は、我が国最大の戦略課題であると同時に道政の最重要課題であり、道や市町村はもとより、道民の皆様や民間の方々等とも、危機感を共有しながら長期的な視点に立って、取り組むべき課題であります。

このため、道としては、現在検討を進めている人口減少対策についてであります。人口減少問題は、我が国最大の戦略課題であると同時に道政の最重要課題であり、道や市町村はもとより、道民の皆様や民間の方々等とも、危機感を共有しながら長期的な視点に立って、取り組むべき課題であります。

このため、道としては、現在検討を進めている**人口ビジョンの改訂を通じて、本道人口の将来展望に加え、地域への影響などをわかりやすくお示しし、実効性のある総合戦略の策定に向け検討を進め、緊密に連携しながら取り組んでまいります。**

## 北の元氣玉のからの提案

私は、もはや人口減少はまったなしの段階に入っていることが全国民の共通の認識となっている以上、**それらの条件下で政策、施策の再検討が必要になると確信しています。**

先人達は国民を増やし、富ませ、成長させ、私たちにこの国を託していただきました。

社会は成熟してきたのであります。その恩恵の下で、私たちは日々、暮らすことができています。

一方で私たちは、人口は減るし、経済を縮めていくことを見過そうとさえしているのではないのでしょうか。

今、**私たちは子どもたちへ何を繋ごうとしているのかを明確にしなければなりません。**そのために**持ちうる政策資源を投入**していかなければならないのであります。



国立台湾博物館にて

大倉山展望台にて

産炭地域振興エネルギー調査特別委員会の道外視察で沖縄へ

### 一般質問の様子を動画でも

YouTube 道見やすのり公式チャンネル

定例会議会一般質問の様子を皆様にもいつでも見て頂けるように致しました。文字数の制限から記載できない部分も動画でご覧いただけます!



北の元氣玉の 勇姿を ご覧ください。

<https://www.youtube.com/@domi-yasunori>

SNSも投稿中! 是非ご覧ください。

Facebook (旧 Twitter)



## 人口動態予測

